

遺留品遺族の元へ

平和の灯

題字 津留崎尚
 戦没者を慰霊し 平和を守る会発行
 〒849-0112
 佐賀県三養基郡みやき町
 大字江口7561
 塩川総合企画棟内
 発行責任者 塩川正隆
 電話 0942-89-5135
 F A X 89-9281
 e-mail:senbo-peace@senbotsusya.com
 http://www.senbotsusya.com



井手元さん(印鑑)返還(広島)

昨年2月、当会が沖縄県南城市にて発見した遺留品2点について、ご遺族の方が判明しました。1点目は、井手元氏の印鑑で、持ち主が広島県出身の井手元秋信氏と判明しました。ご遺族の方を訪ねて広島県甲斐市を訪れ、井手元秋信氏の義弟の甲田氏、従兄弟の井手元昭隆氏とお会いすることが出来、印鑑をお返ししました。井手元秋信氏のお墓は甲田氏が管理されており、今後お返しした印鑑は、お墓に収められるということでした。甲田氏によると、亡くなられた奥様が、井手元秋信氏の妹にあたる方で、甲田氏が奥様の生前のころ、奥様の両親と兄弟のお墓を立てられ、管理されてきました。「まさか60年以上前の印鑑が戻ってくるなんてびっくりです。」と驚かれていました。



平田さんのご遺族を発見場所へ案内(沖縄)



川村鶴松さんの日章旗を返還(北海道)

2点目は、ヒラタと彫られた万年筆で、持ち主が福岡県出身の平田佐平氏と判明し、ご遺族の方を沖縄県南城市の遺留品が発見された場所にご案内して、遺留品の返還を行いました。遺留品の発見状況、また沖縄戦当時この場所で軍務にて勤務されていた島袋氏より、当時の状況などを説明していただきました。ご遺族の方々は、「正直驚いています。しかし亡くなられた方が管理されてきた場所が判明し、また遺骨も発見されていることから、是非遺骨を引き取りたい」と感想を述べられました。

また、アメリカより依頼を受けていた日章旗を主(本人)とご遺族に返還しました。本人及びご遺族からのお礼状をご紹介します。

相浦信治さん礼状
 拝啓 この度は、日章旗をお送り下さいまして、有難うございました。60年振りに旗を目の前にして、とても感激しております。こんなに永年保管して下さいまして、心から感謝しております。本当に有難うございました。私は、今年の4月で85歳になりました。21歳で戦場に行き、60年余り過ぎましたこと、永いようであつと言ふ間の人生でした。

お手紙に依れば、お父様が、年若くしてお亡くなりになりましたとの事残念です。生きていたらしゃれば、お会いして当時の事も、いろいろお話ししたかったです。本当に残念です。最終の時に私は、フィリピンで捕虜になり、その時に日章旗を無くしたものだと思えます。私も85歳になりましたが、とても元気で毎日土いじりをしています。永い間日章旗を保管して頂いた事、心から感謝致しております。本当に有難うございませう。今、孫が二人、東大

神石蔵さん礼状
 拝啓 この度は、父の叔父、「神石蔵」が持つていた日章旗を私の元へ届けて頂き、誠にありがとうございます。最初見たとき、驚きでとても感涙いたしました。まさか戦後何十年もたった今、このような貴重なものを目にすることは思ってもおりませんでした。叔父の兄にあたる私の父はもう他界してしまつたので、目にする事はできませんでしたが、私の家族をはじめ、親戚共々みることができました。送って頂いた日章旗は、額に入れて仏前に大事に飾らせて頂きます。本当にありがとうございます。アメリカの女性のおかげだと思えます。深く感謝しております。

川村鶴松さん礼状
 先日は、大変ありがとうございました。お礼が大変遅くなりましたが誠にありがとうございます。鶴松さんの遺品が長い時を経て、私の家に帰ってきたことは、兄弟の方寄せ書きをしてくれた家族の方々の感激です。65年間の思いがこみ上げてきたようでした。保存状態も良くとても嬉しかったです。これも森の新聞記者の方をはじめ、佐賀県のNPO法人の塩川副理事長様のおかげで帰ってまいりました。

遺体ならびに遺留品の発掘 電気探査について

沖繩県糸満市において当会の活動を知り、旧日本軍の遺体が埋葬されているという情報を得て、発掘調査を行いました。この場所でも多数の白骨が発見し、少なくとも2体以上の遺体を発掘しました。沖繩県の施設へ安置しました。

また、電気探査(地下の空洞を探査)については、沖繩県にて那覇市と与那原町の2箇所を調査しました。しかし、与那原町の調査場所では、空洞を示す結果は得られませんでした。しかし、現時を知る方々より情報をいただき調査しました。那覇市の調査場所は、首里城公園に隣接した上の毛公園にて調査した結果、数箇所空洞と見られる場所が特定できました。その内容を公園の管理団体に報告しました。今後、ボーリング調査などが行われる予定となっております。

与那原町の調査場所では、空洞を示す結果は得られませんでした。しかし、現時を知る方々より情報をいただき調査しました。那覇市の調査場所は、首里城公園に隣接した上の毛公園にて調査した結果、数箇所空洞と見られる場所が特定できました。その内容を公園の管理団体に報告しました。今後、ボーリング調査などが行われる予定となっております。

与那原町の調査場所では、空洞を示す結果は得られませんでした。しかし、現時を知る方々より情報をいただき調査しました。那覇市の調査場所は、首里城公園に隣接した上の毛公園にて調査した結果、数箇所空洞と見られる場所が特定できました。その内容を公園の管理団体に報告しました。今後、ボーリング調査などが行われる予定となっております。

遺留品返還状況

(平成18年8月~19年7月)

遺留品	旧所有者	依頼主	返還日
日章旗	園田少将	Sue Ralls	平成18年9月9日
印鑑	外山	国吉 勇	平成18年9月18日
写真	大河	Orville B King	平成18年10月24日
写真	大城上等兵	Orville B King	平成18年10月
文具らしきもの	浜田少尉	国吉 勇	平成19年1月21日
手帳	西村 政美	Dwight J Liggett	平成19年3月19日
写真	二子石 中	当会	平成19年3月30日
手紙	金子 助成	Marvin D Veronee	平成19年4月9日
万年筆	平田 左平	国吉 勇	平成19年4月13日
印鑑	井手元秋信	国吉 勇	平成19年4月14日
日記帳	西村 政美	Dwight J Liggett	平成19年4月17日
日章旗	神 石蔵	Eric S Rasmussen	平成19年5月22日
日章旗	相浦 信治	Paula Hebble	平成19年6月20日
日章旗	川村 鶴松	Candace Perez	平成19年6月26日



調査した上の毛公園にて

親の遺産と放蕩息子
 今回の参議院選挙で自民党安倍政権に対し国民は鉄槌を下した。就任当初から安倍さんは「親の遺産を相続した放蕩息子」に見えて仕方がなかった。親の遺産とは小泉さんの遺産継承と、その結果に続く郵政選挙の解散とそれに続く郵政選挙の結果の圧倒的多数の与党である。これがいけなかった。何でもできると思ひ違ひしてしまつたのである。

このあまり賢くない放蕩息子は親の遺産はたんまり持つていて、何でもできると思つて、人の意見を聞こうとしない。「国民投票法」をはじめとした重要法案の強硬採決十数回、まさに面目躍如である。(このような国会運営がいつまでたっても続くのか?国民は冷静に見ていたのである)

この上生活に困窮したことがないから人(国民)の生活に対する認識にリアリティがない。だから思ひ込みが強く、アホな事にうつつを抜かすという次第である。「美しい国、日本」に象徴されるように国民の政治への期待と余りにもかけ離れた屋敷談話、その最たるものが「集団的自衛権行使研究のための有識者懇談会」である。また今回の参議院選挙でも当初「憲法改正を第一の争点にする」といって、何とも言えない言動を繰り返していた。その言動が国民に今切実に政治を求めるのはそんなものではない。しかしそのことにさえ気がつかない放蕩息子の国民は鼻白んでいた。

小泉改革以来、勝者の論理、競争原理の徹底のためあらゆる場面で格差が拡大した。年金問題、増税や医療・福祉の切り捨てと相まって国民の生活不安・将来不安はかつてないほど高まっている。このような時に政治的放蕩息子が遺産の半分(参議院)を浪費し、このまま居残り残り半分(衆議院)を使い尽くしてくれれば、自民党・財界にとっては鬼も角、多くの国民にとっては幸せなことかもしれない。

(Y.S)